

スペシャルキッズ サポーターの集い in 大阪 2019



「出航」 北見 隆

ともに漕ぎ出そう、スペシャルキッズが輝く未来に向けて

日 時 2019年 **2月17日(日)** 10時00分～18時00分 (受付開始9時30分)

会 場 宝塚大学大阪梅田キャンパス (〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1丁目13番16号)

- プログラム**
- 基調講演：中辻 悅子（美術家・絵本作家）「ことばの力、絵の力」
 - 特別講演：藤井 蘭（アートセラピスト）「病気や障害を抱えた子どもたちとそのきょうだいのためのアートセラピー」
 - あそびかたワークショップ：スペシャルキッズとの遊び方・関わり方に関する10テーマ
 - 活動紹介・交流会

主 催 一般社団法人スペシャルキッズサポート振興協会

後 援 大阪府、大阪市、セレッソ大阪、認定NPO法人病気の子ども支援ネット遊びのボランティア

毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、朝日新聞社、NHK厚生文化事業団近畿支部

協 力 宝塚大学

参加費 一般：2,000円 学生：1,000円

2019年 **2月16日(土)** 19時00分～20時00分 [参加無料]

副島 賢和（昭和大学）「子どもたちにとって安全で安心な場所～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～」

公開講演

講演講師紹介

◆基調講演◆ (10:10~11:00)

中辻 悅子 (美術家、絵本作家)

1960年代から本格的に創作を始め、『よるのようちえん』(文・谷川俊太郎／1998)では、第17回ブラティスラヴァ世界絵本原画展（1999）グランプリを獲得。絵本『まるでんいろとん』(福音館書店／2015)は赤ちゃんに大人気です。

中辻さんの絵本には「いろ」「かたち」「ことば」「リズム」、そして「ふしげ」がいっぱい。これらが子どもの心をつかんで離しません。“ことば”が持つ「力」、“絵”が放つ「力」は何だろう。子どもに絵本を届けるために、ともに何を考え、何を話し合い、どんな想いで創作の場に臨んでおられるのか…。“絵本が誕生するまで”的話を聞くことができる貴重な機会になると思います。

◆特別講演◆ (11:10~12:00)

藤井 路 (アートセラピスト)

講座では簡単なアートワークやシェアリング（共有）の時間も設け、アートセラピーとは何か？、病気や障害を抱えた子どもたちとのきょうだいたちへアートを通してどのようにアプローチできるか？を参加者の皆さんと考えていきたいと思います。

洛和会音羽病院医療介護研究所で発達障がい児、高齢者、緩和ケアの領域でアートセラピーを実践。
18トリソミーの二男・旅也さんのお宅移行を期に退職。旅也さんが亡くなつてからは、学校現場で特別なニーズのある子どもたちの支援に携わりながら、医療的ケアの必要なこども、家族たちとの活動を行つてゐる。

ワークショップ紹介

◆ワークショップ① (13:00~14:30) ◆

◆ワークショップ② (14:50~16:20) ◆

1	副島 賢和 (昭和大学さいかち学級担当) 支援者のための赤鼻ワーク 「自分も相手も大切にするかかわりってどうするの？」	6	松岡 真里 (京都大学医学研究科 准教授) 子どもを支える、親も支える —“支える”って、なんだろう—
2	余谷 暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部 診療部長) 治癒が望めない病気をもつ子どものlifeを支えるために 私たちにできることパート2	7	高橋 秀樹 (Dance De Laugh (ダンス デ ラフ) 代表) 一緒に遊ぼ！ ～ダンス／ムードメント療法の有効性～
3	大船 めぐみ (子ども・本・文化を考える会代表) 子どもの心を豊かにする「本の力」を考える	8	黒澤 淳二 (大阪発達療育センターリハビリテーション部部長) スペシャルキッズが、手や身体を使ってあそべるために
4	たけうち ちひろ (きりえ・絵本作家) カラフルランタン	9	村上 公也 (キミヤーズ塾 塾長) えがお、考える、つながる ～イキイキ・キラキラ・ルンルンの巻～
5	坂下 典子 (アロマセラピーボランティアグループ グラース会代表) こねこねアロマ石けん	10	西谷 美智子 (大和大学総合リハビリテーション学科 講師) 「桜のあかり」作り

※ワークショップは①・②それぞれ1つずつ参加可能です。

※各ワークショップの内容につきましては、ホームページをご覧ください。

問合せ・申込先

一般社団法人スペシャルキッズサポート振興協会 (担当：あそう)

〒577-0843 大阪府東大阪市荒川2丁目8-26

E-mail : info@spkids.or.jp HP : <https://www.spkids.or.jp/>